

2026 年 10 月 15 日

グリーン水素利活用・展示会

福井県、おおい町、一般社団法人ふくい水素エネルギー協議会は、「令和 8 年度 エネルギー構造高度化・転換理解促進事業」において、福井県おおい町で製造したグリーン水素を苦小牧港まで輸送する実証実験に取り組んでいます。

この度、上記事業の理解促進につながるよう、輸送先の苦小牧市で、グリーン水素の利活用・展示会を実施いたします。

苦小牧市役所で実際に利用することで、市民の皆様に水素エネルギーやカーボンニュートラルについて考えていただくきっかけとなることを期待しています。

本展示会についてぜひご覧いただきますようお願いいたします。

1. 事業名

令和 8 年度 エネルギー構造高度化・転換理解促進事業

「嶺南 CO2 フリー水素サプライチェーン構築実証プロジェクト」のうち

「水素カードルコンテナを活用した水素運搬可能性調査および運搬実証」

※実証概要は添付資料をご確認ください。

2. 展示会概要

◆ 日程：2026 年 10 月 19 日（月）～10 月 20 日（火）

◆ 時間：10：00～12:00, 13:00～16:00

- ◆ 場所：苫小牧市役所 駐車場
(北海道苫小牧市旭町 4 丁目 5 番 6 号)
- ◆ 実証内容
 - (1) TC-16【可搬式水素貯蔵モジュール（トヨタ製）】の展示
 - (2) ウルトレッサ【一般複合容器（帝人エンジニアリング製）】を用いた 水素混焼エンジン発電機での水素利用
 - (3) 水素吸蔵合金を用いた燃料電池での水素利用



3. 各機器・装置の特徴

(1) TC-16（可搬式水素貯蔵モジュール）の展示

TC-16：Type 4 高压水素容器（70MPa）

燃料電池車（ミライ）に内蔵されている高压ガス容器を貯蔵モジュールにしたもの。

貯蔵可能水素量は約 16kg



(2) ウルトレッサ（一般複合容器）を用いた水素混焼エンジン発電機での水素利用

ウルトレッサ：FRP を使用した Type 3 高压水素容器（45MPa）。高压ガス保安協会（KHK）の認可取得済み。

水素混焼エンジン発電機：ディーゼルエンジンの改造により、水素を最大 50%（熱量比）混焼可能。

上記 2 つを利用し、発電した電気を風船ポンプで利用し、膨らませた風船を来場者へお渡しします。



(3) 水素吸蔵合金による燃料電池での水素利用

水素貯蔵合金：金属に水素を吸着させて貯める容器。高圧ガス保安法適用外。

燃料電池：水素と空気中の酸素を化学反応させて、電気を作る装置。

上記2つを利用し、発電した電気を利用してディスプレイにて投影します。

※実証概要の説明資料を投影いたします。



【実施主体】 一般社団法人ふくい水素エネルギー協議会

福井県坂井市春江町藤鷲塚 37-9 TEL:0776-58-3930

【本件に関するお問い合わせ】

■ 北酸株式会社 環境エネルギー部 福島

TEL：076-456-2708（直通）e-mail：h-fukushima@hokusan.co.jp

住 所： 富山県富山市本町 11-5